

2026年1月はる

ピアノクラフトワークHP&FB

ケセランぱさらん～音曲パラダイスショー～



NEWS LETTER



2026年スタートしました！ 今年も祝いまくります。こんな世だからこそWhat a wonderful worldと歌うのです。昨年から友人たちと始めたガザ支援のStreet Soup Kitchen Projektは、本当に多くの皆さんのご協力を得て2026年1月現在10回の支援活動を実施できました。また仕事でいただいたお金から継続的に何人かの個人にも寄付をしています。引き続きよろしくお願いします。

祝い！もっと さてさて今年もはじまり・はじまり

人々を分断する、排外主義が表舞台にまで現れて、昨年は本当に息苦しい年となりました。引き続き支援しているガザも停戦とは名ばかりで、イスラエルは支配地域を拡大し続け、境界線を超えたという理由で攻撃し、避難キャンプにさえもドローン攻撃などを繰り返しパレスチナの人々は命を落とし続けています。昨年は、豪雨が襲い、避難キャンプのテントは水没しました。寒い冬を迎えて、凍える人々を思うと辛くてたまりません。しかし私たちが苦しみを自分の中に抱え込んで、うずくまってばかりはおれません。先にある素晴らしい世界を呼び寄せるために、祝い、踊り、歌わなくては！！というわけで今年もあちこちに参ります！！



グランドピアノのハンマーで作ったパレスチナイスカキーホルダー byエマド

2025年被災地支援 3月、4月能登半島へ



昨年は、3月に珠洲市宝立にあるコミュニケーションスペース「本町ステーション」で、ピアノばらばらショー。輪島では新宿で性搾取にさらされてる若い女性たちを支援しているColaboの皆さんと一緒に、ご飯会のひと時に音楽で遊びました。また、珠洲市の上戸仮設、蛸島仮設では、お茶会と歌のサロン活動をさせていただきました。

4月には、東京のこぎつねの家の活動として、珠洲市の正福寺さんで、ご飯会や野菜配布をする中、音楽や体操でひと時、交流させていただきました。

2024年のお正月の地震、9月の豪雨災害と能登の皆さんの心は何度も折れています。2026年現在、仮設住宅で暮らす方が1万8,000人以上と言われています。復興住宅は、8月からという計画ですが、以前のように生活圏の中に農業があり、楽しみがあるような場所に復興住宅を建てて欲しいという要望もあり、どのように進んでいくか注目していきたいと思います。仮設でもサロン活動などコミュニティ支援の必要性はますます高まっています。また、いきます！！

そして能登へ皆さんも一度遊びに来てください！！



輪島朝市跡

←珠洲市 いろは書店前

アコーディオンで嬉しい曲
ちんどん流します！
歌って～踊って
いろんな楽器で音曲パラダイス！！
お茶と音楽のひととき
一緒に歌いましょう
踊りましょう
笑いましょう

3月16日(日)

10時～上戸第2団地集会所
14時～蛸島第1団地集会所



ケセランぱさらん音曲パラダイスショー

阪神大震災の後、仮設店舗を運営することから始まった手作りチンドン屋、災害支援住宅・避難所・仮設住宅・東立・水俣・沖縄・鹿島・ホスビス・ハンセン病療養所や各地の祭りなどで、多岐種と交流している。手作り楽器作り、おもてなし楽器を演奏しているライブを展開！オリジナル曲～様々な曲の編曲・民族音楽などを演奏

殺すな！ 踊れ！ 百年芸能祭は、今年も続く。 百年続く。

毎度お馴染みになりました。百年芸能祭。今年は4月福島県小高の「おれたちの伝承館」、9月いくのパーク「百年大芸能祭」、11月京都「東九条マダン」、12月水俣「水俣百年芸能祭」と旅もしながらあちこちで芸能祭メンバーとして関わってきました。どこでも誰でも百年芸能祭はできます。もうすでに沢山の芸能祭があちこちで広がってきています。あなたも是非！あなたの場所で開催してください！

@おれたちの伝承館 4/26,27
福島県小高にあるおれ伝は、
原発事故で蔑ろにされた命の
言葉たちをいろんなアート作品
で表現したものを展示・発信し
ている。国策原爆によって失わ
れた命を鎮魂し、歌い踊りこれ
から来る世を祝う！東京から、
地元福島から、東北から、パリ
から様々なアーティストと共に
2日間に渡り、祭りを実施！



生田氏さんと出演者の大団円@おれ伝

@いくのパーク大芸能祭 9/16
とても暑い日！出演の面々も熱く、踊り、祈り！！。



百年芸能祭DXバンドとして出演しています。



正信偈とつくも神たち@いくのパーク

FREE GAZA!

やっぱり、パレスチナのためにできることを！

冒頭で書いた通り、イスラエルのジェノサイドは、2025年に形骸化した停戦の中で、まだ続いています。Gazaにはどんな人が住んでいるのでしょうか？パレスチナ人はみんなテロリストとイスラエルの人は言いますが、赤ちゃんも含めて7万人以上の人々がこれまで殺害されました。この戦争は、人種対立、宗教対立でもなんでもありません。一方的なジェノサイドです。パレスチナの地はもともとユダヤの国だったというシオニズムの考え方で、もともとパレスチナの人々が住んでいた土地を奪う、植民地主義によるジェノサイドに他なりません。形だけの停戦下で少しは商品が手に入るようになりました。でも、それを買うために仕事をしてお金を得ようとしてもインフラは爆撃で潰され、稼ぐ術を失った人たちは、寄付を募って生きるしかありません。彼らは恥ずかしいけれど寄付をして欲しい。と言います。また感染症や皮膚病も蔓延しています。昨年豪雨で浸水した避難キャンプでさらに多くのものを失い、極寒の時期を生き延びるのは、大変なことです。人々は疲れ、絶望しています。彼らは「世界は私たちを見捨てている」と言います。私たちにも何かできないか？ということで、昨年7月にStreet Soup Kitchen Projectという、現地炊き出し支援の仕組みを仲間と共に立ち上げました。Gaza側の窓口は、20歳の女性Elman。彼女が120世帯あるアル・マワシ地区の避難キャンプの人々へ日本から寄付を募って送金したお金で、時々に応じて野菜、チキン、毛布など様々な現地ニーズを考えて購入し配布してくれます。特に爆撃で親を失って子供だけの世帯など救援の必要性の高い世帯を優先的に支援してくれています。Emanの家族も安泰ではありません。彼女にも支援が必要です。個別の支援と、プロジェクトの支援を並行して今後も続けていきます。寄付サイトを下にお知らせしています。ぜひご協力お願いします。サイトには配布している動画など報告もあります。Gazaをパレスチナを助けてください。世界には、ウクライナ始め、紛争する多くの国々がたくさんあります。日本では沖縄も、福島、能登も問題を抱え苦しい中人々は生きています。忘れないで、応援、祈り続けたいと思います。

● Street Soup Kitchen ProjectのHP

<https://gazajapan.hatenadiary.jp>

● Street Soup Kitchen ProjectのFBグループ

プロジェクトの詳細ページ
のQRコード
寄付方法も書いています。

